セットアップ
（はじめにご覧ください）

使用方法

お持ちの機器を選んでください。

※ お持ちの機器により使用方法が異なります。

スマートコンピュータやCateyeCycling™に関するトラブルと解決方法については**「よくある質問と答え」**をご覧ください。

※ 本マニュアルの説明上、スマートコンピュータ画面の赤表記は点滅を表します。

※ 本マニュアルで使用されている表示画面、イラストは一例です。お使いの機器により実際に表示される画面やイラストが異なる場合があります。

※ 本製品のオンラインマニュアルおよびYouTubeムービーは予告なく変更することがあります。

セットアップ方法

スマートフォンをお持ちの方

スマートフォンをお持ちでない方

セットアップ方法

スマートフォンをお持ちの方

スマートコンピュータを購入している場合

梱包内容の確認

セットアップ（初回のみ）

ブラケットの取付け

まだ購入していない場合

セットアップ（初回のみ）

オプション部品

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

心拍センサーの装着（HR-12）

※ 他社製センサーは、その取扱説明書に従って取付けてください。

スマートフォンをお持ちの方

梱包内容の確認

スマートコンピュータ

ブラケットバンド

ブラケット

ダイヤル

ブラケットゴムパッド

※ スピード+ケイデンスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）が付属します。

※ トリプルワイヤレスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）と心拍センサー（HR-12）が付属します。

セットアップ

ブラケットの取付け

スマートフォンをお持ちの方

梱包内容

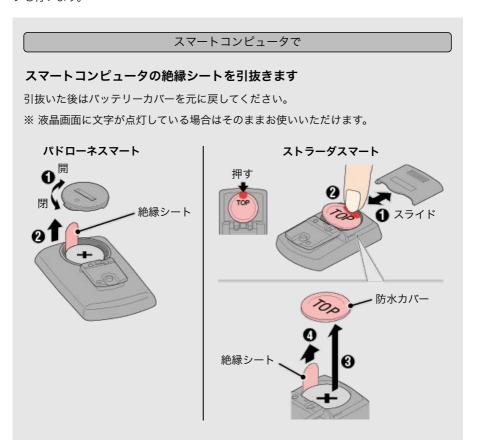
セットアップ

はじめて使用する場合は、次の手順でスマートフォンとスマートコンピュータのセットアップを行います。

スマートコンピュータで

スマートコンピュータの絶縁シートを引抜きます

引抜いた後はバッテリーカバーを元に戻してください。

※ 液晶画面に文字が点灯している場合はそのままお使いいただけます。

スマートフォンで

セットアップにはスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」（無料）を使用します。

1. Cateye Cycling™をインストールします

iPhoneをご使用の方

Androidスマートフォンをご使用の方

※ Cateye Cycling™の動作を推奨するスマートフォンの最新情報については、
「**Cateye Cycling™ 推奨機種**」をご覧ください。

2. Cateye Cycling™を起動します

画面に従ってGPS、Bluetooth®機器の使用を許可してください。

重　要

スマートフォンのBluetooth設定をONにするとデバイスの検出が始まりますが、ここでは設定しません。Cateye Cycling™に切替えてから次の手順に従ってください。

基本事項の設定が完了するとトリップ画面を表示します。

3. スマートコンピュータやセンサーとペアリングを行います

重　要

- スマートコンピュータやセンサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他の機器とペアリングする恐れがあります。

画面左上の（メニュー）から［接続］をONにして、［デバイス］をタップします。

［ペアリング］をタップするとペアリングを開始します。
それぞれの機器の操作方法は、以下をご覧ください。

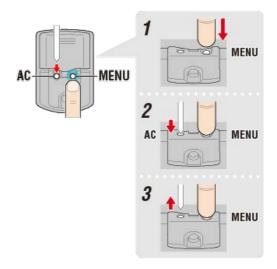
スマートコンピュータとのペアリング

スマートコンピュータで

1. スマートコンピュータをフォーマット（初期化）します

注　意

すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

スマートコンピュータの**MENU**を押しながら**AC**を押します。

画面が全点灯した後、スマホサーチ画面に切替ります。

全点灯　　スマホサーチ画面

※ 画面が全点灯せずに計測画面に切替る場合はフォーマットできていません。再度お試しください。

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

スマートフォンで

Cateye Cycling™がスマートコンピュータを検出するとスマートフォンにメッセージを表示します。

［ペアリング］をタップしてペアリングを完了します。

※ パドローネスマートでiPhoneをお使いの場合は、さらにメッセージを表示します。

もう一度、［ペアリング］をタップしてください。

ペアリング完了後、画面左上の （メニュー）から［トリップ］をタップしてトリップ画面に切替えます。

スマートコンピュータで

ペアリングが完了するとスマートコンピュータはスマホサーチ画面から［ready］（計

測待機）表示に切替ります。

スマホサーチ画面　計測待機

以上でスマートコンピュータのペアリングは完了です。

※ センサーをお持ちの場合は引続き、センサーのペアリングを行なってください。

センサーとのペアリング

スマートコンピュータは、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

重　要

- 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。
  他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰返します。
- iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。
  センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。

1. センサーダイレクトモードの切替
2. ペアリング（センサーID照合）
3. タイヤ設定

1. センサー信号を発信させます

センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。

［ペアリング］をタップすると［デバイス］に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ Cateye Cycling™でペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**A**が表示されます。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順2に進みます。

スマートフォンで

2. タイヤ周長を設定します

［デバイス］から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長（タイヤの外周長）を選択します。

タイヤ周長の求め方

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰返します。

ブラケットの取付け

センサーダイレクトモードの切替

スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を終了する、または（メニュー）の［接続］がOFFになっていることを確認します

スマートコンピュータで

2. スマホサーチ画面でMODEを1秒間押してセンサーダイレクトモードに切替えます

※ スマートコンピュータはスマートフォンではなくセンサーをサーチします。このモードではセンサーの受信状態をセンサーアイコンの点滅で知らせます。

- S（点滅）：スピード信号を受信中
- C（点滅）：ケイデンス信号を受信中
- S／C（SとCが同時点滅）：スピード／ケイデンス（ISC）センサーの信号を受信中
- H（点滅）：心拍信号を受信中
- P（点滅）：パワー信号を受信中

重　要

センサーダイレクトモードとミラーモードは個別の計測でデータの連続性はありません。

ペアリング（センサーID照合）

タイヤ設定

ペアリング（センサーID照合）

スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

重　要

・センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
・ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
・使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

センサー信号の発信方法

照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

・**SP**：スピードセンサー
・**ISC**：スピード／ケイデンスセンサー
・**CD**：ケイデンスセンサー
・**HR**：心拍センサー

・**PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

重　要

画面に［FULL］を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰返してください。
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

タイヤ設定

セットアップ

センサーダイレクトモードの切替

ペアリング（センサーID照合）

タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

重　要

- 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。
  ペアリング（センサーID照合）
- タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

計測画面　　メニュー画面（時刻設定）

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して（タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します

（2秒間）

3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。
（設定範囲：0100～3999 mm）

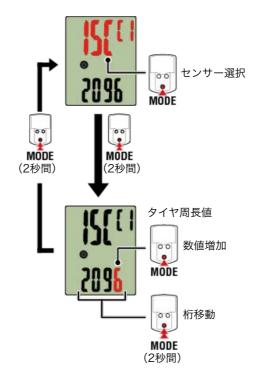
タイヤ周長の求め方

※ 選択できるセンサーは、Cateye Cycling™またはスマートコンピュータでペアリングしたセンサーです。センサー名の後に表示される記号でどちらでペアリングしたか分かります。

・**A**：Cateye Cycling™でペアリングしたセンサー

・**C**：スマートコンピュータでペアリングしたセンサー

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

スマートフォンをお持ちの方

梱包内容

セットアップ

ブラケットの取付け

ブラケットはステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

動画で見る

静止画で見る

- ステムに取付ける場合
- ハンドルバーに取付ける場合
- スマートコンピュータの着脱

●ステムに取付ける場合

1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます

2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます

3. ブラケットバンドをステムに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

注　意

・ダイヤルは必ず手で締付けてください。
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。

・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

●ハンドルバーに取付ける場合

1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます

2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます

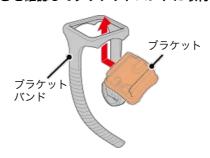
3. ブラケットバンドをハンドルバーに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

注　意

・ダイヤルは必ず手で締付けてください。
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。

・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

●スマートコンピュータの着脱

注　意

取外すときは、スマートコンピュータが落下しないよう、手を添えながら押出してください。

スマートフォンをお持ちの方

セットアップ

スマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」（無料）はスマートフォンのGPSを使ってトリップデータを記録します。
さらにBluetoothセンサーと組合せると走行速度と共に心拍数やケイデンスなど信頼性の高い計測が可能になります。

1. Cateye Cycling™をインストールします

iPhoneをご使用の方

Androidスマートフォンをご使用の方

Cateye Cycling™の動作を推奨するスマートフォンの最新情報については、「**Cateye Cycling™ 推奨機種**」をご覧ください。

2. Cateye Cycling™を起動します

画面に従ってGPS、Bluetooth®機器の使用を許可してください。

重　要
スマートフォンのBluetooth設定をONにするとデバイスの検出が始まりますが、ここでは設定しません。Cateye Cycling™に切替えてから次の手順に従ってください。

基本事項の設定が完了するとトリップ画面を表示します。

※ センサーを使用しない場合は、これでセットアップは完了です。
　センサーを使用する場合は、以下の手順に従ってください。

センサーとのペアリング

Cateye Cycling™は、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

重　要

- センサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他の機器とペアリングする恐れがあります。
- 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰返します。

1. ペアリングを行います

画面左上の （メニュー）から［接続］をONにして、［デバイス］をタップします。

［ペアリング］をタップするとペアリングを開始します。

2. センサー信号を発信させます

センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。
［ペアリング］をタップすると［デバイス］に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ Cateye Cycling™でペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**A**が表示されます。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順3に進みます。

3. タイヤ周長を設定します

［デバイス］から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長（タイヤの外周長）を選択します。

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。

タイヤ周長の求め方

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰返します。

スマートフォンをお持ちの方

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

センサーはチェーンステーの上側・下側どちらでも取付け可能です。

注　意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

動画で見る

静止画で見る

チェーンステー上側に取付けた場合

チェーンステー下側に取付けた場合

注　意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

※ 取付手順は、チェーンステー上側の取付けを例に説明しています。

---

1. センサーを左チェーンステーに仮止めします

① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。

② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。

③ 図を参考に左チェーンステーにナイロンタイで仮止めします。

注　意

ナイロンタイは完全に締付けないでください。
一旦締付けると引抜くことはできません。

2.マグネットを仮止めします

① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロンタイで仮止めします。

② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

※ センサーが両方のマグネット（スピード／ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

3.センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロンタイでしっかりと固定します。

② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかり締付けて固定します。

4. 各部を固定します

センサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。
はみ出したナイロンタイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

スマートフォンをお持ちの方

心拍センサーの装着（HR-12）

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

心拍センサーを装着する前に

警　告

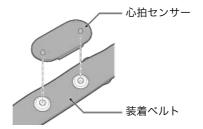
ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

- 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- 胸毛が計測を妨害することもあります。

動画で見る

静止画で見る

1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。

2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。

※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

セットアップ方法

スマートフォンをお持ちでない方

スマートコンピュータのセットアップ

梱包内容の確認

セットアップ（初回のみ）

ブラケットの取付け

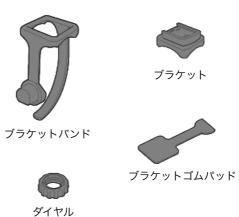
オプション部品

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

心拍センサーの装着（HR-12）

※ 他社製センサーは、その取扱説明書に従って取付けてください。

スマートフォンをお持ちでない方

梱包内容の確認

※ スピード+ケイデンスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）が付属します。

※ トリプルワイヤレスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）と心拍センサー（HR-12）が付属します。

セットアップ

ブラケットの取付け

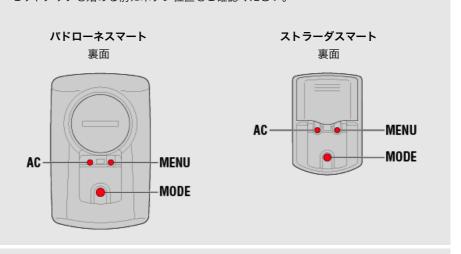
スマートフォンをお持ちでない方

梱包内容

セットアップ

はじめて使用する場合は、次の手順でスマートコンピュータをセットアップします。

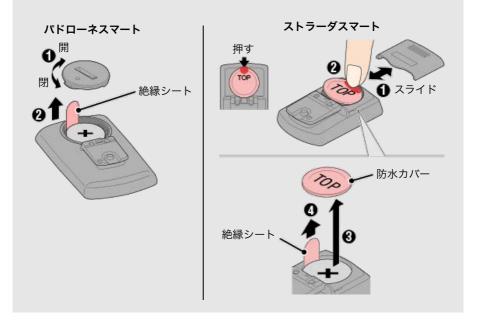
ボタン操作

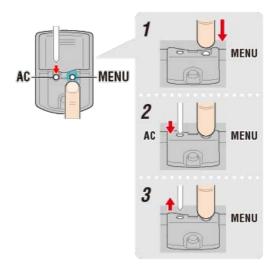
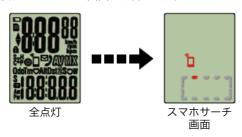
セットアップを始める前にボタン位置をご確認ください。

スマートコンピュータの絶縁シートを引抜きます

引抜いた後はバッテリーカバーを元に戻してください。

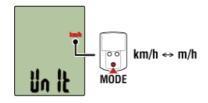
※ 液晶画面に文字が点灯している場合はそのままお使いいただけます。

1. スマートコンピュータをフォーマット（初期化）します

注　意

すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

スマートコンピュータの**MENU**を押しながら**AC**を押します。

画面が全点灯した後、スマホサーチ画面に切替ります。

MENUを押して、次の手順に進みます。

※ 画面が全点灯せずに計測画面に切替る場合はフォーマットできていません。再度お試しください。

2. 任意の計測単位を表示します

MENUを押して、次の手順に進みます。

3. センサーをペアリングします

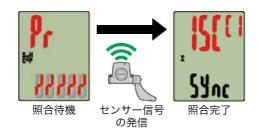
スマートコンピュータは、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

重　要

・センサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。

・ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では避けてください。他の機器とペアリングされる恐れがあります。

・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

ペアリングするセンサー信号を発信させます。

センサー信号の発信方法

照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

・**SP**：スピードセンサー

・**ISC**：スピード／ケイデンスセンサー

・**CD**：ケイデンスセンサー

・**HR**：心拍センサー

・**PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

※ 他のセンサーをペアリングする場合は、**MODE**を2秒間押して照合待機表示に戻し、同じ手順を繰返します。

※ ペアリングに失敗して次の手順に進めない場合は、**MENU**を押してペアリングをスキップしてください。セットアップ完了後にメニュー画面から再度ペアリングできます。

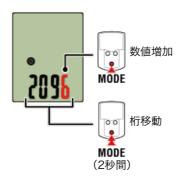
MENUを押して、次の手順に進みます。

---

4. タイヤ周長を設定します

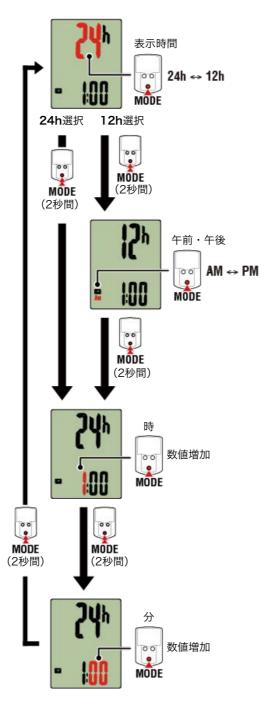
重　要
スピード計測可能なセンサーをペアリングしなかった場合、タイヤ周長入力はスキップします。

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。
（設定範囲：0100～3999 mm）

タイヤ周長の求め方

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

※ スピード計測可能なセンサーを複数ペアリングした場合はセットアップ完了後にメニュー画面から残りのセンサーにタイヤ周長を設定します。

MENUを押して、次の手順に進みます。

5. 表示時間と時刻を設定します

MENUを押すと、計測画面に切替ります。

以上で、セットアップは完了です。

ブラケットの取付け

スマートフォンをお持ちでない方

梱包内容

セットアップ

ブラケットの取付け

ブラケットはステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

動画で見る

静止画で見る

- ステムに取付ける場合
- ハンドルバーに取付ける場合
- スマートコンピュータの着脱

●ステムに取付ける場合

1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます

2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます

3. ブラケットバンドをステムに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

注　意

・ダイヤルは必ず手で締付けてください。
　工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

●ハンドルバーに取付ける場合

1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます

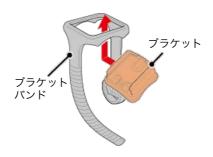
2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます

3. ブラケットバンドをハンドルバーに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

注　意

・ダイヤルは必ず手で締付けてください。
　工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

●スマートコンピュータの着脱

注　意

取外すときは、スマートコンピュータが落下しないよう、手を添えながら押出してください。

スマートフォンをお持ちでない方

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

センサーはチェーンステーの上側・下側どちらでも取付け可能です。

注　意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

動画で見る

静止画で見る

チェーンステー上側に取付けた場合

チェーンステー下側に取付けた場合

注　意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

※ 取付手順は、チェーンステー上側の取付けを例に説明しています。

---

1. センサーを左チェーンステーに仮止めします

① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。

② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。

③ 図を参考に左チェーンステーにナイロンタイで仮止めします。

注　意

ナイロンタイは完全に締付けないでください。
一旦締付けると引抜くことはできません。

2.マグネットを仮止めします

クランク内側

① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロンタイで仮止めします。

② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

※ センサーが両方のマグネット（スピード／ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

3.センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロンタイでしっかりと固定します。

② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかり締付けて固定します。

4. 各部を固定します

センサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。
はみ出したナイロンタイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

スマートフォンをお持ちでない方

心拍センサーの装着（HR-12）

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

心拍センサーを装着する前に

警　告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

- 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- 胸毛が計測を妨害することもあります。

動画で見る

静止画で見る

1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。

2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。

※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

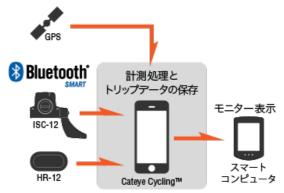
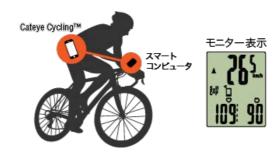
※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートコンピュータは好みや状況に応じて
ミラーモードとセンサーダイレクトモードの2通りに使い分けることができます。

ミラーモード　センサーダイレクトモード

ミラーモードとは

スマートコンピュータとスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」が連携することで、スマートコンピュータやオプションまたは市販の各種センサー（スピード・ケイデンス・心拍・パワー）がスマートフォンと繋がり、スマートフォンが持つGPS機能を加えたログ情報を記録しながら計測できます。このときスマートコンピュータはスマートフォンの計測値をリアルタイムで表示するモニターとなります。

計測時は、スマートフォンをカバンやポケットに収納したまま、ハンドルに装着したスマートコンピュータでスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」を操作できるほか、計測値や電話・メールの着信を確認できます。
これにより大切なスマートフォンの消費電力を抑え、落下の危険性も回避できます。

計測結果（トリップデータ）は、その場でCATEYE Atlas™などのサービスサイトにアップロードできます。

※ 計測時にCateye Cycling™のオートラップ機能を使用することで、ラップの記録が可能になります。

※ スピード計測可能なセンサーがなくてもスマートフォンのGPS機能を利用したセンサーレスのサイクロコンピュータとして使用できます。

●画面表示について

スマートコンピュータ画面

Cateye Cycling™画面

計測する

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

計測前の準備

計測

トリップの保存 ・ アップロード

見る

Cateye Cycling™ではトリップやサマリーデータ（アクティビティと呼ぶ）を確認・管理できます。

全体

アクティビティリスト

アップロード

設定を変更する

Cateye Cycling™ではスマートコンピュータをはじめ、デバイスを含むすべての設定を行えます。

重　要

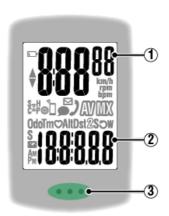
スマートコンピュータのセンサー情報はスマートフォンに接続するとCateye Cycling™の内容で上書きされます。

※ スマートコンピュータでペアリングした他社製センサー情報はそのまま残ります。

一般

デバイス

アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートコンピュータ画面

表示内容

① 上段表示データ

走行速度を表示します。
ミラーモードでは、電話着信があった場合は、右端の数字が回転します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。

デバイス：スマートコンピュータ：画面カスタマイズ

② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

- 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する場合：
  CATEYE製センサーを使用すると、電池交換が必要なセンサーの計測値が点滅します。

  電池の交換：オプションセンサー

- パワーが点滅する場合：
  左右独立型パワーセンサーを使用すると、片方の信号が途絶えたときに点滅します。

③ ドット部（MODEボタン）

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面のMODEが押されます。

着信インジケータ

電話やメールの着信時は画面のアイコン表示と共にドット部が定期的に点滅し夜間でも確認できます。

アイコン説明

（バッテリーアラーム）

スマートコンピュータの電池残量が低下すると点滅します。

早めに電池を交換してください。

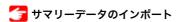
電池の交換：スマートコンピュータ

（メモリアラーム）

スマートコンピュータのメモリ残量がなくなると点灯します。
点灯後は新しいデータを記録するために最も古いサマリーデータを消去します。

※ メモリはセンサーダイレクトモードでのサマリーデータの保存に使用します。

※ メモリはサマリーデータを「Cateye Cycling™」にインポートすることで空にできます。

サマリーデータのインポート

▲▼（ペースアロー）

走行速度が平均速度より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。

（センサー信号アイコン）

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

・ アイコンの種類：

S（スピード信号）
スピードセンサーの信号を表します。
C（ケイデンス信号）
ケイデンスセンサーの信号を表します。
S／C（SとCが同時表示）
スピード／ケイデンス（ISC）センサーの信号を表します。
H（心拍信号）
心拍センサーの信号を表します。
P（パワー信号）
パワーセンサーの信号を表します。

・ アイコンの状態：

点灯
ミラーモードで信号受信中
点滅
センサーダイレクトモードで信号受信中
消灯
信号なし

（タイヤサイズ）

スマートコンピュータ側でタイヤ周長を設定中に表示します。

（シンクロ）

スマートフォン接続時に点灯します。
スマートフォンの電池残量が低下すると点滅します。

・（メール・SMS着信通知）/（電話着信通知）

ミラーモードでは、メールやSMS、電話着信をアイコンで通知します。
通知は計測の一時停止やリセット・終了操作でリセットされます。

※ SMS着信通知はパドローネスマートのみの機能です。

※ メールの着信にはメールアカウントの設定が必要です。

デバイス：スマートコンピュータ：通知設定

計測：一時停止、リセット操作

km/h・m/h・ rpm・ bpm（計測単位）

選択中の計測単位を表示します。

- **点灯**
  計測停止中
- **点滅**
  計測中

AV（平均値）
表示中の値が平均値であることを表します。

MX（最高・最大値）
表示中の値が最高（最大）値であることを表します。

選択データ
現在表示中の選択データを表します。

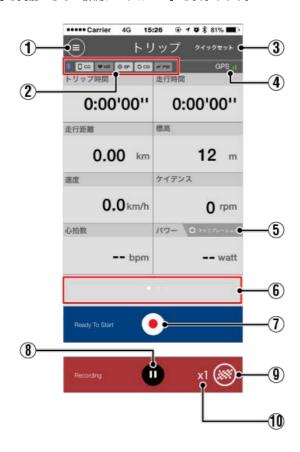
- Odo（積算距離）
- Tm（走行時間）
- （心拍数）
- Alt（標高）
  ※ ミラーモード時のみ
- Dst（走行距離）
- Dst2（走行距離2）
- S（走行速度）
- （ケイデンス）
- W（パワー）
- （時刻）

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

Cateye Cycling™画面

Cateye Cycling™のホーム画面です。
計測の開始／一時停止／完了操作が行えます。

※ 計測の開始／一時停止／終了はスマートコンピュータ本体で遠隔操作できます。

※ センサー信号を受信できない計測データは「ー」を表示します。

① メニューボタン

メニューを表示します。

② 機器接続状態アイコン

機器との接続状態を表します。

- CC （スマートコンピュータ）
- HR （心拍センサー）
- SP （スピードセンサー）
- CD （ケイデンスセンサー）
- PW （パワーセンサー）

※ 薄い表示は未接続を表します。

※ スピード／ケイデンス（ISC）センサーは、SP と CD の両方を表示します。

③ クイックセット

各種計測機能のON/OFFを素早く選択できます。

④ GPSアイコン

GPSの受信状態を表します。

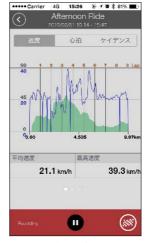
⑤ キャリブレーションボタン

パワーセンサーのキャリブレーションを行います。

パワーセンサーのキャリブレーション

⑥ 表示切替

スワイプするとマップ表示・グラフ表示・ラップ表示に切替り軌跡を確認できます。

マップ表示

グラフ表示

ラップ表示

※ ラップ表示のNo.には**A**（オートラップ）が表示されます。

⑦ 計測開始ボタン

計測を開始します。

※ スピード信号またはGPSを受信できない場合は、選択できません。

⑧ 一時停止ボタン

計測を一時停止します。

⑨ フラッグボタン

計測を完了します。
トリップのアップロード画面に切替ります。

トリップの保存・アップロード

⑩ トリップの一時保存数

リセット操作で一時保存したトリップデータの数を表します。

重　要
一時保存できるトリップデータは最大30ファイルです。これを超えると表示が [Full] に変わり、以降の一時保存はできません。こまめにトリップデータを保存・アップロードすることをお勧めします。

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

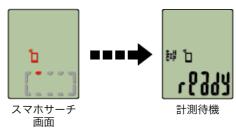
スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を起動し、（メニュー）の［接続］をONにします

スマートコンピュータで

2. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。

スマホサーチ画面　　計測待機

※ すでにCateye Cycling™で計測中に接続した場合は、［PAUSE］や計測中の値が表示されます。

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

以上でスマートフォンとの接続が完了します。

計測前の準備

計測

トリップの保存・アップロード

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

計測前の準備

オートラップを利用する場合は計測前にONに切替えます。
ここではトリップ画面から素早く設定できるクイックセットを説明します。

スマートフォンで

1. （メニュー）の［トリップ］をタップします

2. 画面右上の［クイックセット］をタップします

- **オートラップ**
  オートラップ機能のON／OFFを選択します。
  ※ オートラップ機能は距離・時間・マップのいずれかの方法で設定できます。
  設定内容の変更は以下の画面で行います。
  一般：オートラップ

3. （戻る）をタップします

トリップ画面に戻ります。

計測

トリップの保存・アップロード

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

計測前の準備

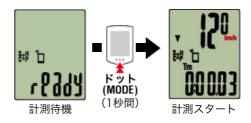
計測

重　要

- **スマートフォンの取扱い**
  計測時、スマートフォンはCateye Cycling™を起動したままディスプレイをOFFにして、カバンやポケットなどの安全な場所に収納します。
  計測のスタート／一時停止／再開やリセット操作（トリップの終了）は、スマートコンピュータから遠隔操作できるので、トリップの保存・アップロードを行うまで取出す必要はありません。
  ※ Cateye Cycling™はバックグラウンドでも計測可能です。
- **計測の上限について**
  ミラーモードは1回のトリップで計測できる走行時間は約27時間、走行距離は1000 kmまでです。いずれかを超えると、計測を終了してトリップデータを一時保存します。この場合、画面は次のトリップ計測を開始できる［ready］（計測待機）表示に戻ります。

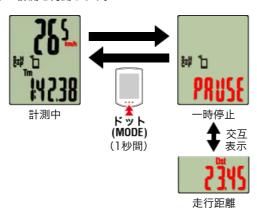
計測の開始

スマートコンピュータで

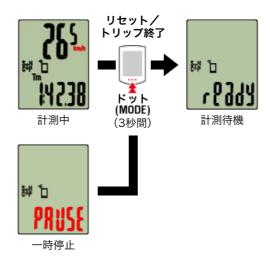
スマートコンピュータが［ready］（計測待機）表示のときに**MODE**を1秒間押すと、計測を開始します。

※ 計測中、スマートフォンとの接続が切断した場合、スマートコンピュータはスマホサーチ画面に切替ります。接続が復帰すると計測画面に戻ります。

計測の一時停止／再開

スマートコンピュータで

計測中に**MODE**を1秒間押すと［PAUSE］を表示して一時停止状態になります。
再度、1秒間押すと計測を再開します。

計測を終了する（リセット操作）

スマートコンピュータで

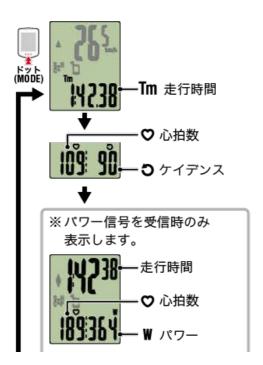
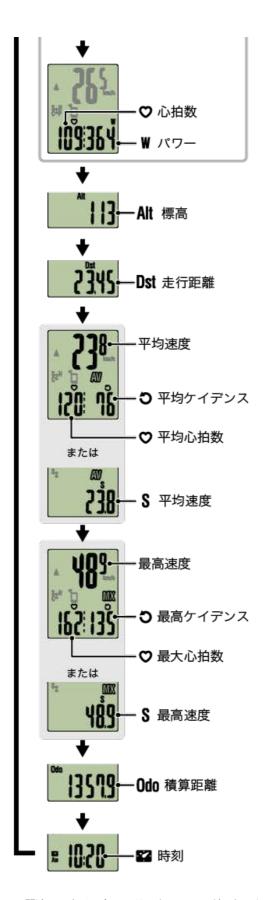
MODEを3秒間押すと計測を終了してスマートフォンにトリップデータを一時保存し、計測値をリセットします。
画面は［ready］表示に切替り、次の計測を開始できる状態になります。

トリップの保存・アップロード

●計測時の機能

計測データの切替

スマートコンピュータで

Cateye Cycling™で計測中の各データをMODEで切替えて表示できます。

※ 表示するデータは、センサーの接続状態により異なります。

※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示しません。

オートラップ機能

Cateye Cycling™では自動でラップを記録できます。
ラップ間隔は距離・時間・場所のいずれかで設定できます。
記録したラップはCateye Cycling™やCateye Atlas™サイトで確認できます。

スマートフォンで

一般：オートラップ

オートポーズ機能

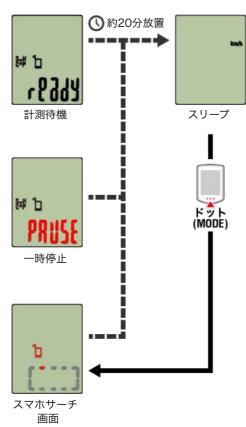
スマートフォンで

スマートフォンとスマートコンピュータの接続が切断したときに、計測を一時停止する機能です。
接続が復帰すると自動的に再開します。

デバイス：スマートコンピュータ：オートポーズ

節電機能

スマートコンピュータで

スマートコンピュータは［ready］（計測待機）、［PAUSE］（一時停止）、スマホサーチ画面のいずれかで約20分間放置したり、Cateye Cycling™を終了する、または［接続］をOFFにするとスリープ表示になります。
MODEを押してスマホサーチ画面に切替えて、スマートフォンと接続が復帰すると計測画面に戻ります。

パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。

スマートコンピュータで

スマートフォンで

※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ 精度を高めるため、パワー計測前のキャリブレーションをお勧めします。

パワーセンサーのキャリブレーション

トリップの保存・アップロード

スマートフォンで

---

1. トリップ画面で （フラッグ）をタップして計測を完了します

アップロード画面に切替ります。

---

2. アップロード先を［ON］表示にします

※ トリップ名は変更可能です。

※ 事前に各サービスサイトのアカウント設定が必要です。

アカウント

※ Cateye Cycling™ではCATEYE Atlas™にアップロードしたトリップのリンクのみFacebook™、Twitter™に投稿できます。その他のサービスサイトのリンクは投稿できません。

---

3. （保存・アップロード）をタップするとトリップがCateye Cycling™に保存されると共に選択したサービスサイトにアップロードされます

※ 複数のトリップがある場合は、この操作を繰返します。

※ （削除）でトリップを削除できます。

※ 計測を行わないときは、スマートフォンのバッテリー消耗を抑えるため、（メニュー）の［接続］をOFFにすることをお勧めします。

アクティビティリスト

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

スマートフォンで

1. （メニュー）の［全体］をタップします

※ Cateye Cycling™に保存したすべてのアクティビティの累積値と1トリップでの最大値が確認できます。

アクティビティリスト

アップロード

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

アクティビティ（トリップデータとサマリーデータの総称）はアクティビティリストで確認できます。

スマートフォンで

1. （メニュー）の［アクティビティリスト］をタップします

※［アクティビティリスト］はグラフ／リスト／カレンダーで表示できます。

※ （選択して削除）をタップするとアクティビティ削除画面へ移行します。

削除するアクティビティにチェックを付け、（削除）をタップしてください。

2. 各アクティビティはタップすると詳細の確認とアップロード・削除が行えます

- **（アップロード）：**
  サービスサイトへのアップロード

- **（削除）：**
  アクティビティ削除

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

アップロード

アクティビティは一括してサービスサイトにアップロードできます。

スマートフォンで

1. （メニュー）の［アップロード］をタップします。

※ 既にサービスサイトにアップしたアクティビティは表示されません。

2. 任意のアクティビティにチェックを付けて （アップロード）をタップすると指定したサイトにアップロードされます

※ 事前にサービスサイトのアカウント設定が必要です。

※ 一括アップロードでのアップロード先は［アカウント］でONにしたサイトになります。

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

計測に関する各種設定を行います。

スマートフォンで

---

1. （メニュー）の［一般］をタップします

- **記録間隔**
  ログを記録する間隔を選択できます。
- **単位**
  計測単位を選択します。

重　要
スマートコンピュータと未接続の状態で単位を変更した場合は、次回接続時にどちらの単位を適用するかを選択します。

- **高度プリセット**
  自宅など特定地点の海抜高度をプリセットできます。
  高度プリセットをONにすると計測開始時の海抜高度を補正して、高度計測の信頼性が改善されます。

  ※ iPhone6など高度計測の精度が高いスマートフォンでは高度プリセットを行う必要はありません。
- **オートラップ**
  ラップの自動入力を距離・時間・マップのいずれかの方法から選択できます。

  ※ マップで地点を指定する：
  マップ上で任意の場所をホールドするとその地点が指定されます。

デバイス

アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

デバイス

スマートコンピュータやセンサーのペアリング、各種設定を行います。

重　要

- デバイスの設定内容はスマートコンピュータとスマートフォンを接続した時点で共有されます。
- iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。
  センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。

1. センサーダイレクトモードの切替
2. ペアリング（センサーID照合）
3. タイヤ設定

スマートフォンで

1. （メニュー）の［デバイス］をタップします

スマートコンピュータ

重　要

スマートコンピュータと接続中のみ設定可能です。

- **ニックネーム**
  スマートコンピュータの名称を変更できます。
- **通知設定**
  電話・メール・SMSの着信通知やスマートフォンのバッテリー残量通知を設定できます。

  ※ SMS着信通知はパドローネスマートのみの機能です。

  ※ auのAndroidスマートフォンをお使いの場合は、仕様によりメール（@ezweb.ne.jp）を登録できません。
- **オートポーズ**
  計測中にスマートフォンを持って自転車から離れ、スマートフォンとスマートコンピュータの接続が切断したとき自動的に計測を一時停止する機能です。
- **画面カスタマイズ**
  上段表示と下段表示の内容を指定できます。
- **積算距離**
  積算距離の初期値を入力できます。

  ※ 買替時や再設定する場合に活用してください。

センサー

重　要

スマートコンピュータと未接続でも変更可能です。
双方の設定値が異なる場合は次回接続時にどちらを適用するか選択します。

- **ニックネーム**
  センサーの名称を変更できます。
- **タイヤ周長**（スピード計測可能なセンサーのみ）
  スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。
  タイヤ側面に記載されているタイヤサイズからタイヤ周長を選択します。

  ※ 初期値：2096 mm（700x23c）

  ※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

  タイヤ周長の求め方

※ スマートコンピュータやセンサーのペアリングについては以下をご覧ください

ペアリング

アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

デバイス

アカウント

アクティビティをアップロードするサービスサイトやSNSのアップロード先の設定を行います。

1. （メニュー）の［アカウント］をタップします

以下のサービスサイトのアカウント設定を行います。

※ 事前に各サイトのアカウントが必要です。

サービスサイト

- **CATEYE Atlas™**
- STRAVA™
- TRAINING PEAKS™

SNS

- Facebook™
- Twitter™

※ SNSには、CATEYE Atlas™にアップロードしたアクティビティのリンクが投稿されます。

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートコンピュータは好みや状況に応じてミラーモードとセンサーダイレクトモードの2通りに使い分けることができます。

ミラーモード | センサーダイレクトモード

センサーダイレクトモードとは

スマートフォンを介さず、通常のサイクロコンピュータとして使用できます。
この場合、各種センサー（スピード・ケイデンス・心拍・パワー）からの信号をスマートコンピュータが直接受信して計測します。

走行時間や走行距離などの走行結果（サマリーデータ）は、「Cateye Cycling™」でスマートフォンに転送し、CATEYE Atlas™などのサービスサイトにアップロードできます。

※ センサーダイレクトモードでは、走行ログの記録はできません。

※ iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。

●画面表示について

スマートコンピュータ画面

計測する

センサーダイレクトモードの切替え

計測の開始／停止

見る

Cateye Cycling™ではトリップやサマリーデータ（アクティビティと呼ぶ）を確認・管理できます。

全体

アクティビティリスト

アップロード

センサーダイレクトモードで計測した
サマリーデータのインポート

設定を変更する

Cateye Cycling™ではスマートコンピュータをはじめ、デバイスを含むすべての設定を行えます。

重　要

- スマートコンピュータのセンサー情報はスマートフォンに接続するとCateye Cycling™の内容で上書きされます。
  ※ スマートコンピュータでペアリングした他社製センサー情報はそのまま残ります。
- iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。
  センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。

ペアリング（センサーID照合）

タイヤ設定

一般

デバイス

アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

スマートコンピュータ画面

表示内容

① 上段表示データ

走行速度を表示します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。

デバイス：スマートコンピュータ：画面カスタマイズ

② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

- 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する場合：
  CATEYE製センサーを使用すると、電池交換が必要なセンサーの計測値が点滅します。

  電池の交換：オプションセンサー

- パワーが点滅する場合：
  左右独立型パワーセンサーを使用すると、片方の信号が途絶えたときに点滅します。

③ ドット部（MODEボタン）

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面の**MODE**が押されます。

アイコン説明

（バッテリーアラーム）

スマートコンピュータの電池残量が低下すると点滅します。
早めに電池を交換してください。

電池の交換：スマートコンピュータ

M（メモリアラーム）

スマートコンピュータのメモリ残量がなくなると点灯します。

点灯後は新しいデータを記録するために最も古いサマリーデータを消去します。

※ メモリはセンサーダイレクトモードでのサマリーデータの保存に使用します。

※ メモリはサマリーデータを「Cateye Cycling™」にインポートすることで空にできます。

サマリーデータのインポート

▲▼（ペースアロー）

走行速度が平均速度より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。

（センサー信号アイコン）

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

・ アイコンの種類：

S（スピード信号）

スピードセンサーの信号を表します。

C（ケイデンス信号）

ケイデンスセンサーの信号を表します。

S／C（SとCが同時表示）

スピード／ケイデンス（ISC）センサーの信号を表します。

H（心拍信号）

心拍センサーの信号を表します。

P（パワー信号）

パワーセンサーの信号を表します。

・ アイコンの状態：

点滅

信号受信中

消灯

信号なし

（タイヤサイズ）

スマートコンピュータ側でタイヤ周長を設定中に表示します。

km/h・m/h・ rpm・ bpm（計測単位）

選択中の計測単位を表示します。

- **点灯**

  計測停止中

- **点滅**

  計測中

AV（平均値）

表示中の値が平均値であることを表します。

MX（最高・最大値）

表示中の値が最高（最大）値であることを表します。

選択データ

現在表示中の選択データを表します。

・ Odo（積算距離）

・ Tm（走行時間）

・ （心拍数）

・ Dst（走行距離）

・ Dst2（走行距離2）

・ S（走行速度）

・ （ケイデンス）

・ W（パワー）

・ （時刻）

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

センサーダイレクトモードの切替

スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を終了する、または（メニュー）の［接続］がOFFになっていることを確認します

スマートコンピュータで

2. スマホサーチ画面でMODEを1秒間押してセンサーダイレクトモードに切替えます

※ スマートコンピュータはスマートフォンではなくセンサーをサーチします。このモードではセンサーの受信状態をセンサーアイコンの点滅で知らせます。

- S（点滅）：スピード信号を受信中
- C（点滅）：ケイデンス信号を受信中
- S／C（SとCが同時点滅）：スピード／ケイデンス（ISC）センサーの信号を受信中
- H（点滅）：心拍信号を受信中
- P（点滅）：パワー信号を受信中

重　要

センサーダイレクトモードとミラーモードは個別の計測でデータの連続性はありません。

計測の開始／停止

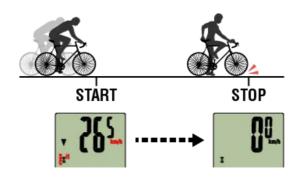
スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

センサーダイレクトモードの切替

計測の開始／停止

計測の開始／停止

スマートコンピュータで

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。
計測中は、計測単位が点滅します。

※ センサーダイレクトモードでは一時停止機能はありません。

計測を終了する（リセット操作）

スマートコンピュータで

計測画面で**MODE**を3秒間押すと、計測結果をサマリーデータとして生成し、計測データを0に戻します。

※ **MODE**は1秒間押した時点で一時的にスマホサーチ画面を表示しますがそのまま押し続けてください。

※ 積算距離（**Odo**）はリセットできません。

※ 生成したサマリーデータは、スマートフォンに取込めます。

サマリーデータのインポート

リセット

ドット
(MODE)
（3秒間）

重　要

スマートコンピュータが保存できるサマリーデータは最大30ファイルです。これを超えると画面に M が点灯し、リセット時に最も古いサマリーデータを消去します。
スマートフォンと接続してお使いの場合はこまめにインポートすることをお勧めします。

●走行距離2（Dst2）のリセット

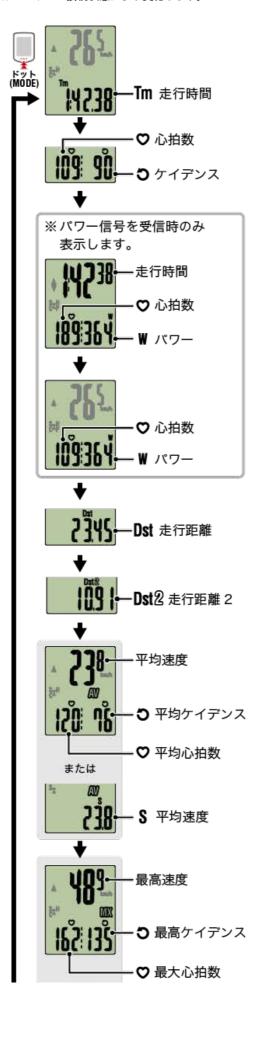
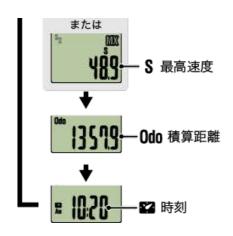
走行距離2（**Dst2**）を表示させて**MODE**を3秒間押すと、走行距離2のみ0に戻ります。

※ 走行距離2（**Dst2**）の値はサマリーデータには記録されません。

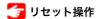
●計測時の機能

計測データの切替

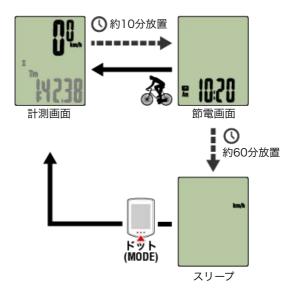
スマートコンピュータで

MODEを押すと下段の選択データが切替ります。

※ 表示するデータはセンサーの接続状態により変化します。

※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示されません。

※ 各平均値は、走行時間が約27時間を超えると.Eを表示します。また平均速度は走行距離が1000 kmを超えた場合も同様です。
リセット操作し、新たに計測を開始すると平均値の計測が可能になります。

節電機能

スマートコンピュータで

10分間センサー信号やボタン操作がないと節電画面になります。この状態が更に1時間続くとスリープ表示になります。
節電画面では自転車が動き出すと計測画面に戻ります。

パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。

スマートコンピュータで

※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ 精度を高めるため、パワー計測前のキャリブレーションをお勧めします。

パワーセンサーのキャリブレーション

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

スマートフォンで

---

1. （メニュー）の［全体］をタップします

※ Cateye Cycling™に保存したすべてのアクティビティの累積値と1トリップでの最大値が確認できます。

アクティビティリスト

アップロード

サマリーデータのインポート

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

アクティビティ（トリップデータとサマリーデータの総称）はアクティビティリストで確認できます。

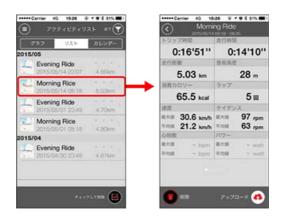
スマートフォンで

1. （メニュー）の［アクティビティリスト］をタップします

※［アクティビティリスト］はグラフ／リスト／カレンダーで表示できます。

※ （選択して削除）をタップするとアクティビティ削除画面へ移行します。

削除するアクティビティにチェックを付け、（削除）をタップしてください。

2. 各アクティビティはタップすると詳細の確認とアップロード・削除が行えます

・ **（アップロード）：**
サービスサイトへのアップロード

・ **（削除）：**
アクティビティ削除

アップロード

サマリーデータのインポート

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

アップロード

アクティビティは一括してサービスサイトにアップロードできます。

スマートフォンで

1. （メニュー）の［アップロード］をタップします。

※ 既にサービスサイトにアップしたアクティビティは表示されません。

2. 任意のアクティビティにチェックを付けて （アップロード）をタップすると指定したサイトにアップロードされます

※ 事前にサービスサイトのアカウント設定が必要です。

※ 一括アップロードでのアップロード先は［アカウント］でONにしたサイトになります。

サマリーデータのインポート

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

全体

アクティビティリスト

アップロード

サマリーデータのインポート

スマートコンピュータに蓄積されたサマリーデータ（センサーダイレクトモードの計測結果）をスマートフォンに転送します。

重　要

サマリーデータをインポートする前に必ずスマートコンピュータの計測を終了（リセット操作）してください。計測を終了していないデータはインポートできません。

リセット操作

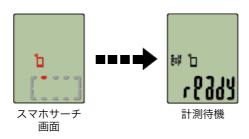
スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を起動し、（メニュー）の［接続］をONにします

スマートコンピュータで

2. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。

スマホサーチ画面　　計測待機

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

※ Cateye Cycling™で計測中の場合、インポートは行えません。

3. (メニュー)の［アクティビティリスト］をタップします

スマートコンピュータにサマリーデータがある場合、 (CCからインポート) が表示されます。
ボタンをタップするとスマートフォンにサマリーデータがインポートされ、アクティビティリストに反映されます。

※ この操作でスマートコンピュータ内のサマリーデータは消去されます。

※ インポート後は、スマートフォンのバッテリー消耗を抑えるため、 (メニュー) の［接続］をOFFにすることをお勧めします。

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

計測に関する各種設定を行います。

スマートフォンで

1. （メニュー）の［一般］をタップします

- **記録間隔**
  ログを記録する間隔を選択できます。
- **単位**
  計測単位を選択します。

  重　要
  スマートコンピュータと未接続の状態で単位を変更した場合は、次回接続時にどちらの単位を適用するかを選択します。

- **高度プリセット**
  自宅など特定地点の海抜高度をプリセットできます。
  高度プリセットをONにすると計測開始時の海抜高度を補正して、高度計測の信頼性が改善されます。

  ※ iPhone6など高度計測の精度が高いスマートフォンでは高度プリセットを行う必要はありません。
- **オートラップ**
  ラップの自動入力を距離・時間・マップのいずれかの方法から選択できます。

  ※ マップで地点を指定する：
  マップ上で任意の場所をホールドするとその地点が指定されます。

デバイス

アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

デバイス

スマートコンピュータやセンサーのペアリング、各種設定を行います。

重　要

・デバイスの設定内容はスマートコンピュータとスマートフォンを接続した時点で共有されます。

・iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。
センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。

1. センサーダイレクトモードの切替

2. ペアリング（センサーID照合）

3. タイヤ設定

スマートフォンで

1. （メニュー）の［デバイス］をタップします

スマートコンピュータ

重　要

スマートコンピュータと接続中のみ設定可能です。

- **ニックネーム**
  スマートコンピュータの名称を変更できます。
- **通知設定**
  電話・メール・SMSの着信通知やスマートフォンのバッテリー残量通知を設定できます。

  ※ SMS着信通知はパドローネスマートのみの機能です。

  ※ auのAndroidスマートフォンをお使いの場合は、仕様によりメール（@ezweb.ne.jp）を登録できません。
- **オートポーズ**
  計測中にスマートフォンを持って自転車から離れ、スマートフォンとスマートコンピュータの接続が切断したとき自動的に計測を一時停止する機能です。
- **画面カスタマイズ**
  上段表示と下段表示の内容を指定できます。
- **積算距離**
  積算距離の初期値を入力できます。

  ※ 買替時や再設定する場合に活用してください。

センサー

重　要

スマートコンピュータと未接続でも変更可能です。
双方の設定値が異なる場合は次回接続時にどちらを適用するか選択します。

- **ニックネーム**
  センサーの名称を変更できます。
- **タイヤ周長**（スピード計測可能なセンサーのみ）
  スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。
  タイヤ側面に記載されているタイヤサイズからタイヤ周長を選択します。

  ※ 初期値：2096 mm（700x23c）

  ※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

  タイヤ周長の求め方

※ スマートコンピュータやセンサーのペアリングについては以下をご覧ください

ペアリング

アカウント

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

一般

デバイス

アカウント

アクティビティをアップロードするサービスサイトやSNSのアップロード先の設定を行います。

---

1. （メニュー）の［アカウント］をタップします

以下のサービスサイトのアカウント設定を行います。

※ 事前に各サイトのアカウントが必要です。

サービスサイト

- **CATEYE Atlas™**
- STRAVA™
- TRAINING PEAKS™

SNS

- Facebook™
- Twitter™

※ SNSには、CATEYE Atlas™にアップロードしたアクティビティのリンクが投稿されます。

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

ペアリング（センサーID照合）

スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

重　要

- センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
- ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

センサー信号の発信方法

照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

- **SP**：スピードセンサー
- **ISC**：スピード／ケイデンスセンサー
- **CD**：ケイデンスセンサー
- **HR**：心拍センサー
- **PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

重　要

画面に［FULL］を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰返してください。
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

タイヤ設定

スマートフォンとスマートコンピュータをお持ちの方

ペアリング（センサーID照合）

タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

重　要

・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。

ペアリング（センサーID照合）

・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

計測画面

メニュー画面
（時刻設定）

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して（タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します

（2秒間）

3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。
（設定範囲：0100〜3999 mm）

タイヤ周長の求め方

※ 選択できるセンサーは、Cateye Cycling™またはスマートコンピュータでペアリングしたセンサーです。センサー名の後に表示される記号でどちらでペアリングしたか分かります。

・**A**：Cateye Cycling™でペアリングしたセンサー

・**C**：スマートコンピュータでペアリングしたセンサー

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

スマートコンピュータのみお持ちの方

概　要

スマートコンピュータを一般的なサイクロコンピュータとして使用します。
この使い方をセンサーダイレクトモードと呼び、各種センサー（スピード、ケイデンス、心拍、パワー）からの信号をスマートコンピュータが受信して計測します。

●画面表示について

スマートコンピュータ画面

計測する

計測の開始／停止

設定を変更する

スマートコンピュータの各種設定を変更します。

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

上段表示設定

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

スマートコンピュータのみお持ちの方

スマートコンピュータ画面

表示内容

① 上段表示データ

走行速度を表示します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。

上段表示設定

② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

・ 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する場合：
CATEYE製センサーを使用すると、電池交換が必要なセンサーの計測値が点滅します。

電池の交換：オプションセンサー

・ パワーが点滅する場合：
左右独立型パワーセンサーを使用すると、片方の信号が途絶えたときに点滅します。

③ ドット部（MODEボタン）

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面のMODEが押されます。

アイコン説明

（バッテリーアラーム）

スマートコンピュータの電池残量が低下すると点滅します。
早めに電池を交換してください。

電池の交換：スマートコンピュータ

M（メモリアラーム）

スマートフォンと連携する際に必要な情報です。アイコンが点灯しても計測に影響はありま

せん。

▲▼（ペースアロー）

走行速度が平均速度より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。

（センサー信号アイコン）

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

- アイコンの種類：
  S（スピード信号）
  スピードセンサーの信号を表します。
  C（ケイデンス信号）
  ケイデンスセンサーの信号を表します。
  S／C（SとCが同時表示）
  スピード／ケイデンス（ISC）センサーの信号を表します。
  H（心拍信号）
  心拍センサーの信号を表します。
  P（パワー信号）
  パワーセンサーの信号を表します。

- アイコンの状態：
  点滅
  信号受信中
  消灯
  信号なし

（タイヤサイズ）

タイヤ周長を設定中に表示します。

km/h・m/h・ rpm・ bpm（計測単位）

選択中の計測単位を表示します。

- **点灯**
  計測停止中
- **点滅**
  計測中

AV（平均値）

表示中の値が平均値であることを表します。

MX（最高・最大値）

表示中の値が最高（最大）値であることを表します。

選択データ

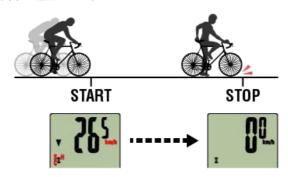
現在表示中の選択データを表します。

- Odo（積算距離）
- Tm（走行時間）
- （心拍数）
- Dst（走行距離）
- Dst2（走行距離2）
- S（走行速度）
- （ケイデンス）
- W（パワー）
- （時刻）

スマートコンピュータのみお持ちの方

計測の開始／停止

計測の開始／停止

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。
計測中は、計測単位が点滅します。

リセット操作

計測画面でMODEを3秒間押すと、計測データを0に戻します。

※ MODEは1秒間押した時点で一時的にスマートフォンをサーチする画面を表示しますがそのまま押し続けてください。
この画面で停止したときは、もう一度MODEを1秒間押すと計測画面に戻ります。

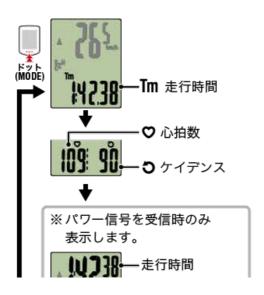
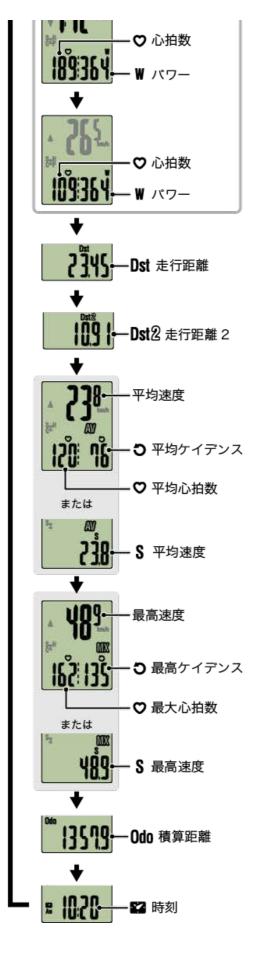
※ 積算距離（Odo）はリセットできません。

リセット
ドット
(MODE)
（3秒間）

●走行距離2（Dst2）のリセット

走行距離2（Dst2）を表示させてMODEを3秒間押すと、走行距離2のみ0に戻ります。

計測データの切替

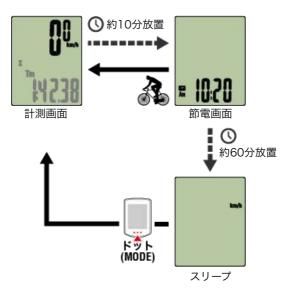
MODEを押すと下段の選択データが切替ります。

※ 表示するデータはセンサーの接続状態により変化します。

※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示されません。

※ 各平均値は、走行時間が約27時間を超えると.Eを表示します。また平均速度は走行距離が1000 kmを超えた場合も同様です。
リセット操作し、新たに計測を開始すると平均値の計測が可能になります。

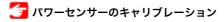
リセット操作

節電機能

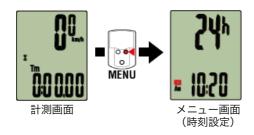
10分間センサー信号やボタン操作がないと節電画面になります。この状態が更に1時間続くとスリープ表示になります。
節電画面では自転車が動き出すと計測画面に戻ります。

パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。

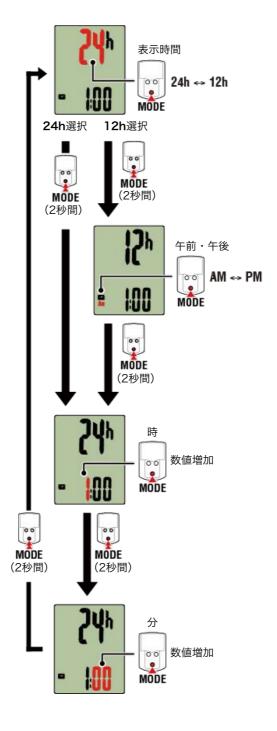
※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ パワー計測前に、定期的なキャリブレーションをお勧めします。

スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. （時刻アイコン）が点滅していることを確認してMODEを2秒間押します

3. 表示時間と時刻を設定します

---

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

タイヤ設定

ペアリング

上段表示切替

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

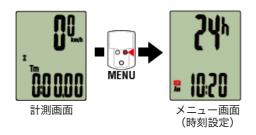
スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

重　要

- 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。

  ペアリング（センサーID照合）

- タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して （タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します

3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。
（設定範囲：0100～3999 mm）

タイヤ周長の求め方

※ 選択できるセンサーは、Cateye Cycling™またはスマートコンピュータでペアリングしたセンサーです。センサー名の後に表示される記号でどちらでペアリングしたか分かります。

・**A**：Cateye Cycling™でペアリングしたセンサー

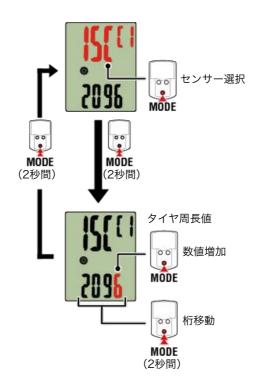
・**C**：スマートコンピュータでペアリングしたセンサー

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

重　要

・センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
・ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。
　他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
・使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

計測画面　　メニュー画面（時刻設定）

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

（2秒間）

3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

センサー信号の発信方法

照合待機　　センサー信号の発信　　照合完了

照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

・**SP**：スピードセンサー

・**ISC**：スピード／ケイデンスセンサー

・**CD**：ケイデンスセンサー

・**HR**：心拍センサー

・**PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

重　要

画面に［FULL］を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰返してください。
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

上段表示切替

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

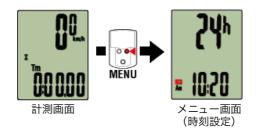
ペアリング

上段表示設定

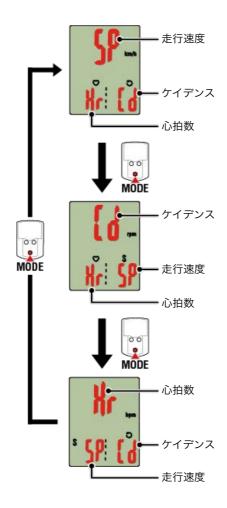
上段表示は走行速度・ケイデンス・心拍数から選択できます。

重　要
ペアリングしていないセンサーが必要な計測項目は選択できません。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

計測画面　　メニュー画面（時刻設定）

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

3. MODEを押して3つの表示から選択します

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

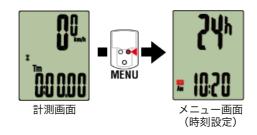
タイヤ設定

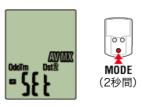
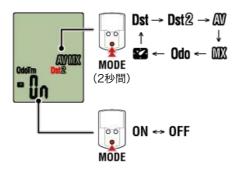
ペアリング

上段表示設定

ファンクション設定

画面下段に表示する選択データから任意のデータをスキップできます。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

3. スキップする選択データのアイコンを点滅させてOFFに切替えます

※ 走行速度、走行時間、心拍数、ケイデンス、パワーはスキップできません。

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

積算距離手入力

計測単位設定

スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

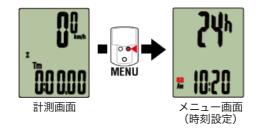
ペアリング

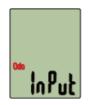
上段表示設定

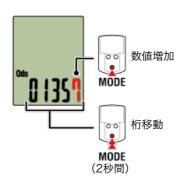
ファンクション設定

積算距離手入力

積算距離に任意の数値を入力すると、その値からスタートできます。
※ 買替による計測値の引継ぎや再設定する場合に活用できます。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

3. 積算距離を入力します

※ 小数は入力できません。

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

計測単位設定

スマートコンピュータのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

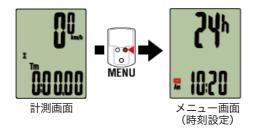
上段表示設定

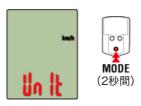
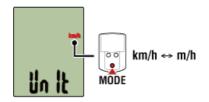
ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

計測単位（kmまたはmile）を選択できます。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

3. MODEを押して計測単位を選びます

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

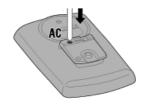
※ 計測単位を変更すると、これまで計測した計測値は変更後の単位で自動換算されます。

電池の交換

●スマートコンピュータ

パドローネスマート

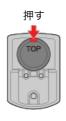
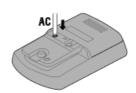
画面に （バッテリーアイコン）が点灯したら電池の交換時期です。
新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が上面に見えるように挿入します。

※ 交換後は、裏面の**AC**を押してください。（リスタート操作）

ストラーダスマート

画面に （バッテリーアイコン）が点灯したら電池の交換時期です。
新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が上面に見えるように挿入します。

※ 防水カバーは、カバー上部のふちを押して取外します。
取付けは、**TOP**側が上面に見えるようにかぶせてください。

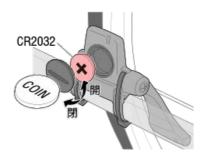
※ 交換後は、裏面の**AC**を押してください。

（リスタート操作）

●**オプションセンサー**

スピードセンサー（ISC-12）

重　要

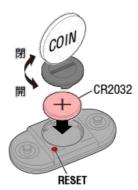
CATEYE製センサーをご使用の場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅して通知します。

スマートコンピュータの走行速度やケイデンスが点滅すると電池の交換時期です。
新しいリチウム電池（CR2032）を（＋）側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかり閉めます。

※ 交換後は必ず**RESET**を押して、マグネットとの位置関係を確認してください。

心拍センサー（HR-12）

重　要

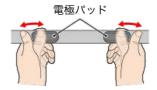
CATEYE製センサーをご使用の場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅して通知します。

スマートコンピュータの心拍数が点滅すると電池の交換時期です。
新しいリチウム電池（CR2032）を（＋）側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかり閉めます。

※ 交換後は必ず**RESET**を押してください。

センサー信号の発信方法

次の方法でセンサー信号を発信します。

- **スピードセンサー、スピード／ケイデンス（ISC）センサー、ケイデンスセンサー**
  マグネットをセンサーゾーンに数回近づける。（間隔3 mm以内）

- **心拍センサー**
  両方の電極パッドを親指でこすり、心拍信号を発信させる。

- **パワーセンサー**
  パワーセンサーの取扱説明書をご覧ください。

タイヤ周長の求め方

タイヤ周長（L）は、タイヤ周長ガイドまたは自転車のタイヤを実測して求めてください。

タイヤ周長ガイド

※ ETRTOやタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935
54-203	12x1.95	940
40-254	14x1.50	1020
47-254	14x1.75	1055
40-305	16x1.50	1185
47-305	16x1.75	1195
54-305	16x2.00	1245
28-349	16x1-1/8	1290
37-349	16x1-3/8	1300
32-369	17x1-1/4 (369)	1340
40-355	18x1.50	1340
47-355	18x1.75	1350
32-406	20x1.25	1450
35-406	20x1.35	1460
40-406	20x1.50	1490
47-406	20X1.75	1515
50-406	20x1.95	1565
28-451	20x1-1/8	1545
37-451	20x1-3/8	1615
37-501	22x1-3/8	1770
40-501	22x1-1/2	1785
47-507	24x1.75	1890
50-507	24x2.00	1925
54-507	24x2.125	1965
25-520	24x1 (520)	1753
	24x3/4 Tubular	1785
28-540	24x1-1/8	1795
32-540	24x1-1/4	1905
25-559	26x1 (559)	1913
32-559	26x1.25	1950
37-559	26x1.40	2005
40-559	26x1.50	2010
47-559	26x1.75	2023
50-559	26x1.95	2050
54-559	26x2.10	2068
57-559	26x2.125	2070
58-559	26x2.35	2083

75-559	26x3.00	2170
28-590	26x1-1/8	1970
37-590	26x1-3/8	2068
37-584	26x1-1/2	2100
	650C Tubular 26x7/8	1920
20-571	650x20C	1938
23-571	650x23C	1944
25-571	650x25C 26x1 (571)	1952
40-590	650x38A	2125
40-584	650x38B	2105
25-630	27x1 (630)	2145
28-630	27x1-1/8	2155
32-630	27x1-1/4	2161
37-630	27x1-3/8	2169
40-584	27.5x1.50	2079
54-584	27.5x2.1	2148
57-584	27.5x2.25	2182
18-622	700x18C	2070
19-622	700x19C	2080
20-622	700x20C	2086
23-622	**700x23C**	**2096**
25-622	700x25C	2105
28-622	700x28C	2136
30-622	700x30C	2146
32-622	700x32C	2155
	700C Tubular	2130
35-622	700x35C	2168
38-622	700x38C	2180
40-622	700x40C	2200
42-622	700x42C	2224
44-622	700x44C	2235
45-622	700x45C	2242
47-622	700x47C	2268
54-622	29x2.1	2288
56-622	29x2.2	2298
60-622	29x2.3	2326

自転車のタイヤ周長を実測する

タイヤの空気圧を適正にした状態で、自転車に荷重をかけます。
バルブなどを基準にタイヤを1回転させ、路面の寸法を測ります。

前輪でスピード
計測する場合

後輪でスピード
計測する場合

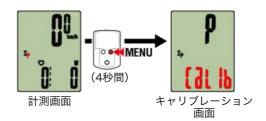
パワーセンサーのキャリブレーション

パワーセンサーは使い続けると無負荷状態に若干のずれが生じてきます。
定期的にキャリブレーションを行って補正してください。
特に重要な計測をする場合は、事前のキャリブレーションをお勧めします。

注　意

- キャリブレーションを開始する前にパワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、キャリブレーション時の注意事項をご確認ください。キャリブレーションに失敗すると正確なパワー計測は行えません。
- 必ずパワーセンサー装着部品（クランクなど）に力をかけていない状態で行ってください。

スマートコンピュータで

計測停止中に計測画面で**MENU**を4秒間押します。

3秒後、キャリブレーションが完了します。

パワーセンサーのキャリブレーション

パワーセンサーは使い続けると無負荷状態に若干のずれが生じてきます。
定期的にキャリブレーションを行って補正してください。特に重要な計測をする場合は、事前のキャリブレーションをお勧めします。

注　意

- キャリブレーションを開始する前にパワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、キャリブレーション時の注意事項をご確認ください。キャリブレーションに失敗すると正確なパワー計測は行えません。
- 必ずパワーセンサー装着部品（クランクなど）に力をかけていない状態で行ってください。

スマートフォンで

スマートコンピュータに接続した状態で計測停止中に［トリップ］の［キャリブレーション］をタップします。

3秒後、キャリブレーションが完了します。

よくある質問と答え

CateyeCycling™のアップデートでパドローネスマートの動作が不安定になる場合（iPhoneのみ）

iPhone版CateyeCycling™のアップデート後、パドローネスマートとiPhoneが接続しにくい、またはパドローネスマートの表示や動作がおかしくなった場合は、以下の方法でiPhoneの通知設定を変更してください。

※ 通知を許可したアプリの数が多すぎると、接続の際に問題がでる場合があります。

1. iPhoneの［設定］＞［通知］をタップします。
2. ［表示］に並ぶアプリをタップし、［通知を許可］をOFFにします。
   OFFにしたアプリは［非表示］に移動されます。
   ［表示］に並ぶアプリ数を減して動作が改善するか確認してください。

表示の異常

全般

高度

心拍数

パワー

計測できない

ミラーモード計測のとき

センサーダイレクトモード計測のとき

心拍数が計測できない

パワーが計測できない

データがリセットできない

計測画面で**MODE**を3秒間押すとリセットされます。

「トリップの終了」と「記録の完了」の違い

トリップの終了とは？

・ リセット操作（**MODE**を3秒間押す）と計測値が0に戻ります。これをトリップの終了と呼びます。画面はready表示となり、次のトリップの計測がスタートできます。

記録の完了とは？

・ Cateye Cycling™のトリップ画面で （フラッグ）をタップするとトリップを保存・アップロードする画面に移行して一連の記録が完結します。これを記録の完了と呼びます。

計測データが記録として残らない

リセット操作してもサマリーデータが記録されていないときがある。

・0.1km以下の計測はサマリーデータとして記録されません。

アップロードできない

各サービスサイトのログイン設定は済んでいますか？

・ Cateye Cycling™の （メニュー）ー［アカウント］で各サイトのアカウント情報を入力しログイン設定してください。

Facebookへ投稿できない（iPhoneをご使用の場合）

・ iOS設定のfacebookでCyclingを［ON］にしてください。
［ON］であるのに投稿できない場合は一度［OFF］にして再度［ON］に戻してください。

スマートフォンのバッテリー消耗が早い

計測を行わないときもCateye Cycling™の［接続］がONになっていませんか？

・ スマートフォンのバッテリー消耗を抑えるため、 （メニュー）の［接続］をOFFにすることをお勧めします。

よくある質問と答え

表示の異常：全般

まったく表示が出ない

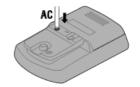
電池の寿命です。新しい電池に交換してください。

電池の交換：スマートコンピュータ

異常な表示が出る

電磁波等を発生する物（鉄道線路、テレビの送信所など）が近くにあると異常表示が出る場合があります。
原因と思われる物から離れ、スマートコンピュータをリセット操作（**MODE**を3秒間押す）し、新たに計測を行ってください。

画面がフリーズする

スマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）

画面に M が表示される

スマートコンピュータのメモリがいっぱいです。
スマートフォンと連携している場合は、Cateye Cycling™に接続してサマリーデータをインポートするとメモリは空になりアイコンが消灯します。
スマートコンピュータ単体で使用している場合は、計測にはまったく影響ありません。計測を継続してください。

計測数値が点滅する

CATEYE製センサーをご使用の場合、計測値に関連するセンサーの電池寿命が残りわずかであることを示します。
関連するセンサーの電池を交換してください。

電池の交換：オプションセンサー

パワーの値が点滅する

左右独立型パワーセンサーを使用している場合、片方の信号が途絶えると点滅します。
パワーセンサーを確認してください。

走行速度の値がおかしい

スピード計測可能なセンサーを使用していない場合はスマートフォンのGPSで計測を行うため、トンネルなど受信状況により、計測の中断や実際と異なる値を示します。

よくある質問と答え

表示の異常：心拍数

センサーを外しても心拍数が表示される

他社製センサーを使用した場合、心拍数が長時間表示される場合があります。

計測が不安定

心拍センサーは正しく装着されていますか？

・ 心拍センサーの取扱説明書をご覧になり、正しい位置に装着してください。

心拍センサーの装着

・ 心拍センサーはTOPが上を向くように装着してください。

・ 左側の電極部が心臓の上になるよう右にずらして装着し試してください。体質により改善される場合があります。

よくある質問と答え

表示の異常：パワー

パワー表示が正確でない

パワーセンサーのキャリブレーションを実行してください。

ミラーモードで計測する場合

センサーダイレクトモードまたはスマートコンピュータ単体で計測する場合

よくある質問と答え

表示の異常：高度

登坂高度の計測値にばらつきがある

高度計測は、スマートフォンのGPS機能に依存しているため、実際の値と異なる場合があります。

よくある質問と答え

計測できない：ミラーモード計測のとき

ミラーモード計測画面にならない

Cateye Cycling™をスマートフォンにインストールしましたか？

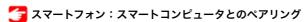
・ Cateye Cycling™をインストールしてください。

iPhoneをご使用の方

Androidスマートフォンをご使用の方

※ Cateye Cycling™の動作を推奨するスマートフォンの最新情報については、
「**Cateye Cycling™ 推奨機種**」をご覧ください。

スマートフォンとスマートコンピュータをペアリングしましたか？

・ Cateye Cycling™でスマートコンピュータをペアリングしないとミラーモード計測はできません。

Cateye Cycling™のメニューで接続が［ON］になっていますか？

・ 接続を［ON］にしてください。

センサーダイレクトモードになっていませんか？

・ **MODE**を1秒間押してください。
スマホサーチ画面に切替り、スマートフォンと接続します。

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

スマートコンピュータのスマホサーチ画面でスマートフォンと接続できない

Cateye Cycling™のメニューで接続が［ON］になっていますか？

・ 接続を［ON］にしてください。

［ON］であるのに接続できないときは、スマートコンピュータのペアリングをやり直します。スマートフォンや機種により対処法が異なります。

・ **パドローネスマートとiPhoneをお使いの方**

iPhoneの［設定］－［Bluetooth］に登録されているスマートコンピュータを解除します。その後、Cateye Cycling™の（メニュー）－［デバイス］でスマートコンピュータを一旦削除し、改めてペアリングを行います。

スマートフォン：スマートコンピュータとのペアリング

- **ストラーダスマートをお使いの方すべてと**
  すべてのAndroidスマートフォンをお使いの方
  Cateye Cycling™の（メニュー）－［デバイス］でスマートコンピュータを一旦削除し、改めてペアリングを行います。

スマートフォン：スマートコンピュータとのペアリング

ready表示のままで計測がスタートしない

MODEを1秒間押すと**Tm**が表示され計測がスタート可能となります。
Cateye Cycling™の計測開始ボタンをタップしても同様です。

計測待機

PAUSEと走行距離を交互に表示して計測がスタートしない

計測が一時停止中です。
MODEを1秒間押すと計測が再開できます

一時停止

交互表示

走行距離

走行速度が計測できない

スピードセンサー（ISC-12）を使用している場合は、ホイールマグネットがセンサーゾーンと対面する位置から外れるとスピード信号が0と判断され計測できません。
（走行速度の計測はセンサーのスピード信号を優先します）

センサー信号を受信しない

センサーのペアリングを行いましたか？

- Cateye Cycling™でセンサーとのペアリングが必要です。

スマートフォン：センサーとのペアリング

お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

- Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

センサーの電池が消耗していませんか？

- 新しい電池に交換してください。

電池の交換：オプションセンサー

スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

・ センサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

スピードセンサーなしで計測できない

計測をスタートした直後ではありませんか？

・ スマートフォンがGPSを捕捉するまで時間がかかる場合があります。
屋外でしばらく待機してからスタートしてください。

※ GPSを捕捉するまでの時間は、お使いのスマートフォンにより異なります。

GPS信号の受信に適さない場所や天候ではありませんか？

・ スマートフォンのGPS捕捉が途絶えると計測できなくなります。

※ GPSの受信については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンとデバイス（スマートコンピュータやセンサー）の接続が途切れ、再接続できない

センサーと再接続できない

センサーのリセットボタンを押してください。
改善しない場合は、スマートフォンを再起動してください。

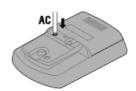
スマートコンピュータと再接続ができない

Cateye Cycling™が異常終了していませんか？

・ Cateye Cycling™を起動してください。

改善しない場合は、以下の方法を行ってください。

・ スマートフォンを再起動してください。

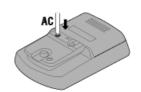
・ スマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）

自転車から離れて戻ってくるとスマートコンピュータがスリープ画面になっていた

スマートフォンとの距離が離れた場合、短時間でもスマートコンピュータがスリープに入る場合があります。
スマートコンピュータをクリックすることでスマホサーチ状態になり、スマートフォンと再度接続することができます。

スリープ

スマートコンピュータの動作が不安定

スマートフォンを再起動してください。
改善しない場合は、さらにスマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）

よくある質問と答え

計測できない：センサーダイレクトモード計測のとき

計測画面にならない

画面下段が回転していませんか？

・ MODEを1秒間押してください。センサーダイレクトモードの計測画面に移行します

スマホサーチ画面

センサー信号を受信しない（Cateye Cycling™をご使用の場合）

スマートフォンのCateye Cycling™メニューで接続が［ON］になっていませんか？

・ ［OFF］にするかCateye Cycling™を終了してください。

センサーとペアリングを行いましたか？

・ センサーはスマートコンピュータとのペアリングが必要です。

スマートコンピュータ：センサーとのペアリング

Bluetoothセンサーと接続する他のスマートフォンアプリを同時に使用していませんか？

・ Bluetoothセンサーがスマートフォンと接続している可能性があります。Bluetoothセンサーは1つのデバイスとしか接続しない特性があります。アプリの使用を中止する、またはアプリの設定でBluetoothセンサーを接続しないように変更してください。

---

iPhoneと他社製センサーをお使いですか？

・ 他社製センサーはスマートコンピュータで再度ペアリングする必要があります。スピード計測可能なセンサーの場合はタイヤ周長も同様です。

スマートコンピュータ：センサーとのペアリング

スマートコンピュータ：タイヤ設定

お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

センサーの電池が消耗していませんか？

・ 新しい電池に交換してください。

電池の交換：オプションセンサー

スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

・ センサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

センサー信号を受信しない（スマートコンピュータのみでご使用の場合）

センサーとペアリングを行いましたか？

・ センサーはスマートコンピュータとのペアリングが必要です。

スマートコンピュータ：センサーとのペアリング

お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

センサーの電池が消耗していませんか？

・ 新しい電池に交換してください。

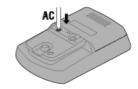
電池の交換：オプションセンサー

スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

・ センサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

スマートコンピュータの動作が不安定

スマートコンピュータ裏面の**AC**ボタンを押してください。（リスタート操作）

よくある質問と答え

計測できない：心拍数

画面の H が点滅しない

センサーのペアリングを行いましたか？

- センサーはCateye Cycling™、またはスマートコンピュータとのペアリングが必要です。

ミラーモードで計測する場合

センサーダイレクトモードまたはスマートコンピュータ単体で計測する場合

電極パッドが身体から離れていませんか？

- 電極パッドが身体に密着するように装着してください。

肌が乾燥していませんか？

- 電極パッドを少し湿らせます。

電極パッドが長期間の使用で劣化損傷していませんか？

- 装着ベルトを新しい物と交換してください。

よくある質問と答え

計測できない：パワー

画面の P が点滅しない

センサーのペアリングを行いましたか？

- センサーはCateye Cycling™、またはスマートコンピュータとのペアリングが必要です。

ミラーモードで計測する場合

センサーダイレクトモードまたはスマートコンピュータ単体で計測する場合

パワーセンサーの取付条件を満たしていますか？

- パワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください

スマートフォンとスマートコンピュータの接続

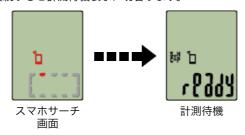
スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を起動し、（メニュー）の［接続］をONにします

スマートコンピュータで

2. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。

スマホサーチ画面　　計測待機

※ すでにCateye Cycling™で計測中に接続した場合は、［PAUSE］や計測中の値が表示されます。

※ スマートコンピュータの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

以上でスマートフォンとの接続が完了します。

ペアリング

重　要

- スマートコンピュータやセンサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。
  他の機器とペアリングする恐れがあります。

スマートフォンで

1. 画面左上の （メニュー）から［接続］をONにして、［デバイス］をタップします。

［ペアリング］をタップするとペアリングを開始します。
それぞれの機器の操作方法は、以下をご覧ください。

スマートコンピュータとのペアリング

スマートコンピュータで

1. 計測画面でMODEを1秒間押してスマホサーチ画面を表示します

スマホサーチ
画面

スマートフォンで

Cateye Cycling™がスマートコンピュータを検出するとスマートフォンにメッセージを表示します。
［ペアリング］をタップしてペアリングを完了します。

ペアリング完了後、画面左上の （メニュー）から［トリップ］をタップしてトリップ画面に切替えます。

スマートコンピュータで

トリップ画面に切替えるとスマートコンピュータはスマホサーチ画面から［ready］（計測待機）表示に切替ります。

スマホサーチ画面　　計測待機

以上でスマートコンピュータのペアリングは完了です。

※ センサーをお持ちの場合は引続き、センサーのペアリングを行なってください。

センサーとのペアリング

スマートコンピュータは、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

重　要

- 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰返します。
- iPhoneをお使いの場合は、他社製センサーの設定内容を同期できません。
  センサーダイレクトモードで計測する際は別途スマートコンピュータで設定する必要があります。

1. センサーダイレクトモードの切替
2. ペアリング（センサーID照合）
3. タイヤ設定

1. センサー信号を発信させます

センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。
［ペアリング］をタップすると［デバイス］に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ Cateye Cycling™でペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**A**が表示されます。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順2に進みます。

スマートフォンで

2. タイヤ周長を設定します

［デバイス］から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長（タイヤの外周長）を選択します。

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。

タイヤ周長の求め方

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰返します。

ペアリング

スマートコンピュータで受信するセンサーをペアリングします。

重　要

- センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
- ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

計測画面　メニュー画面（時刻設定）

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します

（2秒間）

3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

センサー信号の発信方法

照合待機　センサー信号の発信　照合完了

照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

- **SP**：スピードセンサー
- **ISC**：スピード／ケイデンスセンサー
- **CD**：ケイデンスセンサー
- **HR**：心拍センサー
- **PW**：パワーセンサー

※ スマートコンピュータでペアリングしたセンサーにはセンサー名の後に**C**が表示されます。

重　要

画面に［FULL］を表示してメニューに戻る場合：スマートコンピュータでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態でMENUを4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰返してください。
もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

重　要

- 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。

  ペアリング（センサーID照合）

- タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

計測画面　　メニュー画面（時刻設定）

※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して（タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します

（2秒間）

3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。
（設定範囲：0100～3999 mm）

タイヤ周長の求め方

※ 選択できるセンサーは、Cateye Cycling™またはスマートコンピュータでペアリングしたセンサーです。センサー名の後に表示される記号でどちらでペアリングしたか分かります。

・**A**：Cateye Cycling™でペアリングしたセンサー

・**C**：スマートコンピュータでペアリングしたセンサー

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

スピードセンサーの取付け（ISC-12）

センサーはチェーンステーの上側・下側どちらでも取付け可能です。

注　意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

動画で見る

静止画で見る

チェーンステー上側に取付けた場合

チェーンステー下側に取付けた場合

注　意

チェーンステー下側の取付けは、上側の取付けと比べセンサーとマグネット間の調整範囲が狭くなります。

※ 取付手順は、チェーンステー上側の取付けを例に説明しています。

---

1. センサーを左チェーンステーに仮止めします

① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。

② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。

③ 図を参考に左チェーンステーにナイロンタイで仮止めします。

注　意

ナイロンタイは完全に締付けないでください。
一旦締付けると引抜くことはできません。

2.マグネットを仮止めします

① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロンタイで仮止めします。

② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

※ センサーが両方のマグネット（スピード／ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

3.センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロンタイでしっかりと固定します。

② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかり締付けて固定します。

4. 各部を固定します

センサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。
はみ出したナイロンタイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

心拍センサーの装着（HR-12）

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

心拍センサーを装着する前に

警　告

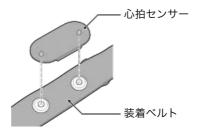
ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

・ 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
・ 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
・ 胸毛が計測を妨害することもあります。

動画で見る

静止画で見る

1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。

2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。

※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。
※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

取扱いおよびサポート

ご注意

スマートコンピュータ／オプションセンサー

- 走行中は、スマートコンピュータやスマートフォンに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- ブラケット・センサー類はしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- スマートコンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- スマートコンピュータは絶対分解しないでください。
- スマートコンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- スマートコンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 指定以外の電池を使用すると破裂の危険性があります。使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

Cateye Cycling™

スマートコンピュータはスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」と連動して計測や設定が行えます。アプリケーションのダウンロードおよび利用には通信料が発生するためWi-Fiの活用をお勧めします。

メンテナンス

スマートコンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。

標準部品／オプション部品

標準部品

1602194
ブラケットキット

1600280N
ブラケットバンド

1602193
ブラケット

1665150
リチウム電池（CR2032）

オプション部品

1603970
スピードセンサー
（ISC-12）

1603980
心拍センサー（HR-12）

1603595
装着ベルト

1604100
アウトフロントブラケット

1603892
スリムブラケットキット

1699691N
ホイールマグネット

1699766
ケイデンスマグネット

1603893
ラバーバンド・ナイロンタイ

製品仕様

使用電池／電池寿命

●スマートコンピュータ

・パドローネスマート：

リチウム電池（CR2032）×1
／約4ヶ月（ISC-12、HR-12をペアリングして1日1時間使用した場合）

- **ストラーダスマート：**
リチウム電池（CR2032）×1
／約5ヶ月（ISC-12、HR-12をペアリングして1日1時間使用した場合）

●オプションセンサー

- **心拍センサー（HR-12）：**
リチウム電池（CR2032）×1
／約5ヶ月（1日1時間使用時）
- **スピードセンサー（ISC-12）：**
リチウム電池（CR2032）×1
／約5ヶ月（1日1時間使用時）

※ あらかじめ装着されている電池はモニター用のため、上記の寿命より短い場合があります。

※ 電池寿命はセンサーのペアリング数や使用状況により短くなる場合があります。

制御方式

マイクロコンピュータ（水晶発振器）

表示方式

液晶表示

走行速度・ケイデンス検知方式

無接触磁気センサー（ISC-12）

※ 走行速度はスマートフォンのGPSでも計測できます。

センサー信号送受信方式

Bluetooth 4.0

通信範囲

約30 m（通信範囲は天候や環境などにより変化します。）

スピードセンサータイヤ周長範囲

0100 mm 〜3999 mm
（初期値：2096 mm）

使用温度範囲

0 ℃〜40 ℃

※ 使用温度範囲外で使用すると表示の視認性が悪化する場合があります。

寸法・重量

●スマートコンピュータ

- **パドローネスマート：**
67.5 x 43 x 15.6 mm / 30 g
- **ストラーダスマート：**
47 x 32 x 13.2 mm / 17 g

●オプションセンサー

- **心拍センサー（HR-12）：**
31 x 62.5 x 11.8 mm / 16.6 g
- **スピードセンサー（ISC-12）：**
70.4 x 86.3 x 23.5 mm / 19.2 g
（アーム部を下に向けた場合）

※ 仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

保証規定

2年間保証

- **パドローネスマート本体**
- **ストラーダスマート本体**
- **ISC-12 スピード/ケイデンスセンサー**
- **HR-12 心拍センサー**

（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前にEメール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させて頂きます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

［宛先］

株式会社キャットアイ カスタマーサービス
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号
TEL : (06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX : (06)6719-6033
Eメール : support@cateye.co.jp

法律に基づく注意

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user’s authority to operate the equipment.

NOTE:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément á la réglementation d’Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d’un type d’un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l’émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique á l’intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d’antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e) ne dépasse pas l’intensité nécessaire á l’établissement d’une communication satisfaisante.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d’Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L’exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:
(1) l’appareil ne doit pas produire de brouillage, et
(2) l’utilisateur de l’appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d’en compromettre le fonctionnement.

CAN ICES-3 (B) / NMB-3 (B)